

# 矯正・小児歯科学演習

責任者名：本吉 満

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：演習

## ◆担当教員

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

坂田 英明(小児歯科学 兼任講師)

柳澤 宗光(小児歯科学 兼任講師)

中川 正治(小児歯科学 兼任講師)

本吉 満(歯科矯正学 教授)

中嶋 昭(歯科矯正学 准教授)

馬谷原 琴枝(歯科矯正学 准教授)

田村 隆彦(歯科矯正学 専任講師)

納村 泰弘(歯科矯正学 専任講師)

内田 靖紀(歯科矯正学 助教)

## ◆一般目標 (GIO)

不正咬合の診査および診断法，治療への応用を理解するために，検査，器材，装置，治療法とその力学的作用を修得する。

小児の歯科診療の実際と咬合誘導を理解するために，小児の全身疾患に随伴する病変、保隙や動的咬合誘導の目的，方法や画像診断を修得する。

## ◆到達目標 (SBOs)

「矯正装置とその作用」

- ①不正咬合の原因，種類，診察，検査，診断，治療および予防法を説明できる。
- ②矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
- ③矯正装置の種類と特徴および使用目的を説明できる。
- ④矯正治療に必要な力学を説明できる。

「小児の歯科診療の実際」

- ①小児の全身疾患に随伴する口腔病変を説明できる。
- ②小児期の耳鼻科疾患が口腔の機能に及ぼす影響を説明できる。
- ③保隙と動的咬合誘導の違いを説明できる。
- ④動的咬合誘導装置の種類，目的，使用方法を説明できる。
- ⑤動的咬合誘導症例における画像診断の応用について説明できる。

### ◆評価方法

平常試験（80%）、ならびに授業内で google フォーム等を用いた質疑応答の結果（20%）を基に評価する。

平常試験のフィードバックは、試験解説を行うことで学生へのフィードバックを行い、さらに質問がある場合にはオフィスアワーの活用にて個別学習指導も行う。

### ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
本吉 満	月曜日 17:00～18:00・講座研究室		
白川 哲夫	月曜日 17:00～18:00・講座研究室		

### ◆授業の方法

一般講義，スライド，小テストによる知識の確認。

【実務経験】担当教員代表者：本吉 満，白川哲夫：現在，日本大学歯学部付属歯科病小児歯科・歯科矯正科にて行われている，乳歯列期，混合歯列期から永久歯列期の歯科疾患，歯科関連疾患，咬合誘導，不正咬合の治療の診療経験から，治療の概念やスキルを臨床的な経験を基に教科書およびスライドにて補足しながら解説したいと考えています。

### ◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	歯科矯正学 第 6 版	飯田順一郎、葛西一貴、後藤滋巳、末石研二、槇宏太郎、山城隆	医歯薬出版	2019
教科書 2	MANUAL FOR ORTHODONTIC BASIC TRAINING	日本大学歯学部矯正学講座	中島印刷	2020
教科書 3	小児歯科学 第 5 版	白川哲夫、飯沼光生、福本 敏	医歯薬出版	2017
参考書	小児歯科学基礎・臨床実習 第 2 版	前田隆秀，福田理，白川哲夫，牧憲司	医歯薬出版	2014

### ◆DP・CP

[DP-3]

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[CP5-4]

歯科医学に基礎知識を体系的に習得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

[CP5-4]

研究で明きからとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する力を養成する

#### ◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。また、演習内容については、解説を授業後に自宅学習（復習）して理解を深めること。

#### ◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

小児の歯科診療の基礎（3年後期）

歯科矯正学（4年前期）

矯正・小児歯科学実習（4年前期）

#### ◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.13	6	小児の歯科診療の 実際 1. 咬合誘導の実際 1) 咬合誘導装置の 種類 (教3) pp.312-332 (参) pp.73-98	保隙と動的咬合誘導の違いを説明できる。 各種咬合誘導装置の種類と適応症について説明できる。	白川 哲夫	E-4-2) 小児の 歯科治療
2		5.13	7	小児の歯科診療の 実際 1. 咬合誘導の実際 2) 動的咬合誘導と 画像診断装置の活用 (教3) pp.301-303 (参) pp.213-227	動的咬合誘導の症例について、治療開始前、治療中、治療後の咬合変化を説明できる。 顎口腔の発育・機能評価への画像診断装置の活用法を説明できる。	白川 哲夫 中川 正治	E-4-2) 小児の 歯科治療

3	5.20	6	小児の歯科診療の 実際 1. 咬合誘導の実際 3) 保隙装置・動的 咬合誘導装置の製 作方法 (参) pp.213-227	保隙装置・動的咬合誘導装置の製作 方法を説明できる。 保隙装置・動的咬合誘導装置を使用 する際の留意点を説明できる。	白川 哲夫	E-4-2) 小児の 歯科治療
4	5.20	7	小児の歯科診療の 実際 1. 咬合誘導の実際 4) 動的咬合誘導に 使用される主な装 置 (教3) pp.320-332 (参) pp.91-98	動的咬合誘導が歯列ならびに口腔機 能に及ぼす効果について、臨床例を 用いて説明できる。 動的咬合誘導装置の種類、目的、使 用方法について説明できる。	白川 哲夫 柳澤 宗光	E-4-2) 小児の 歯科治療
5	5.27	6	診断 (教1) pp.135- 144	矯正臨床における診断の特徴と目的 を説明できる。	中嶋 昭	E-4-1) 不正咬 合の治療
6	5.27	7	形態的検査 (教1) pp.150- 157	顔面写真,口腔内写真,口腔模型など の資料についての分析法を説明でき る。	中嶋 昭	E-4-1) 不正咬 合の治療
7	6.3	6	機能検査 (教1) pp.169- 174	下顎運動,咀嚼運動,嚥下運動,発 音などの機能検査法を説明できる。	中嶋 昭	E-4-1) 不正咬 合の治療
8	6.3	7	頭部X線規格写真 分析法(1) (教1) pp.157- 160	頭部X線規格写真の計測点の設定 を説明できる。	馬谷原 琴 枝	E-4-1) 不正咬 合の治療
9	6.10	6	頭部X線規格写真 分析法(2)	頭部X線規格写真の計測平面の設定 を説明できる。	馬谷原 琴 枝	E-4-1) 不正咬 合の治療

				(教1) pp.160-164			
10		6.10	7	頭部X線規格写真分析法(3) (教1) pp.165-169	頭部X線規格写真の分析法を学び、計測結果から不正咬合をどのように評価するかを説明できる。	馬谷原 琴枝	E-4-1) 不正咬合の治療
11		6.17	6	小児の歯科診療の実際 2. 小児の全身疾患と口腔機能 (教3) pp.384-403	小児期の全身疾患に随伴する口腔病変について説明できる。 小児の全身疾患に関連する歯列・咬合の異常について説明できる。	白川 哲夫	E-4-2) 小児の歯科治療
12		6.17	7	小児の歯科診療の実際 3. 小児の耳鼻科疾患と口腔機能 (教3) pp.293-312  「平常試験」(第1回～4回, 第11, 12回) およびその解説	小児期の耳鼻科疾患について学ぶ。 小児期の耳鼻科疾患が口腔の機能に及ぼす影響について説明できる。	白川 哲夫 坂田 英明	E-4-2) 小児の歯科治療
13		6.24	6	頭部X線規格写真分析法(4) (教1) pp.165-169	頭部X線規格写真の分析の結果から不正咬合を総合的に評価し、抜歯基準についてその考え方を説明できる。	馬谷原 琴枝	E-4-1) 不正咬合の治療
14		6.24	7	矯正治療における抜歯 (教1) pp.175-182	矯正治療上の抜歯の意義, 適応症, 抜歯の部位, 連続抜去法を説明できる。	馬谷原 琴枝	E-4-1) 不正咬合の治療
15		7.1	6	治療方針の立案(1) (教1) pp.183-190	診察および分析結果の総合評価を説明できる。	馬谷原 琴枝	E-4-1) 不正咬合の治療

16	7.1	7	治療方針の立案 (2) (教1) pp.183-190	治療目標設定の重要性を説明できる。	馬谷原 琴枝	E-4-1) 不正咬合の治療
17	7.8	6	矯正用材料 (教1) pp.384-391	矯正材料に関する視覚素材を閲覧し、その用途と使用方法を説明できる。	納村 泰弘	E-4-1) 不正咬合の治療
18	7.8	7	矯正用器械・器具 (教1) pp.391-400  「平常試験」(第5回～10回、第13回～18回) およびその解説	器械・器具に関する視覚素材を閲覧し、その用途と使用方法を説明できる。	納村 泰弘	E-4-1) 不正咬合の治療
19	7.15	6	不正咬合の障害の演習と解説	不正咬合の障害について問題演習を行い、解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め、基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀 本吉 満	E-4-1) 不正咬合の治療
20	7.15	7	顎顔面の成長発育の演習と解説	顎顔面の成長発育について問題演習を行い、解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め、基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀 本吉 満	E-4-1) 不正咬合の治療
21	7.22	6	歯列と咬合の成長発育の演習と解説	歯列と咬合について問題演習を行い、解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め、基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀 本吉 満	E-4-1) 不正咬合の治療
22	7.22	7	不正咬合の原因と予防の演習と解説	不正咬合の原因と予防について問題演習を行い、解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重	内田 靖紀 本吉 満	E-4-1) 不正咬合の治療

					要事項について理解を深め、基礎的知識ならびに理論を列挙できる。		
23		7.29	6	診断と治療の演習と解説	診断と治療について問題演習を行い、解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め、基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀 本吉 満	E-4-1) 不正咬合の治療
24		7.29	7	成長発育期の口腔顎顔面の診察 (教1) pp.263-326	視覚素材を活用し、成長期の患者の口唇・口腔・顎顔面の状態を把握するために、非侵襲的な診察と検査を行うための基本的知識、技能および態度を説明できる。	中嶋 昭	E-4-1) 不正咬合の治療
25		8.5	6	初診時および診断結果の説明 (教1) pp.263-326	視覚素材を活用し、初診時のコミュニケーション方法や診断結果を分かりやすく説明するために必要な基本的知識を説明できる。	中嶋 昭	E-4-1) 不正咬合の治療
26		8.5	7	矯正装置の説明 (教1) pp.263-326	視覚素材を活用し、矯正治療に際し、使用する矯正装置について患者や保護者に分かりやすく説明するために必要な基本的知識を説明できる。	中嶋 昭	E-4-1) 不正咬合の治療
27		8.12	6	「平常試験」(第19回~26回)およびその解説	演習項目19~26回の授業内容の習熟を図り、それらの演習解説から理解度のチェックを列挙できる。	内田 靖紀 本吉 満	E-4-1) 不正咬合の治療
28		8.12	7	実習説明 舌側弧線装置 (教1) pp.217-222 (教2) pp.33-50	舌側弧線装置の製作過程を収めた動画を視聴し、製作時の注意点や基本構成、作用機序、適応症を説明できる。	田村 隆彦	E-4-1) 不正咬合の治療
29		8.19	6	実習説明 拡大装置 (教1) pp.237-238 (教2) pp.51-63	急速拡大装置の製作過程を収めた動画を視聴し、制作時の注意点や矯正力の作用部位などの基本的知識を説明できる。	田村 隆彦	E-4-1) 不正咬合の治療

30		8.19	7	<p>実習説明 エッジワイズ装置 (教1) pp.225-236 (教2) pp.65-122</p>	<p>ブラケットポジショニング, ラウンドワイヤー, レクタングュラーワイヤーの屈曲方法について学び、エッジワイズ装置の原理を説明できる。</p>	田村 隆彦	E-4-1) 不正咬合の治療

